



イメージで学ぶアナログ回路

新入学生の皆さんおめでとう。進級できた学生の皆さんおめでとう。良かったですね。

そして不運にも進級できなかった学生の皆さんへ。残念だったね。今年は頑張ろう。

“落第（つまり昇進遅れ、そして降格も）”は会社では日常茶飯事です。落第は強い人間になるために通過する試練の道と捉えてめげることなく突き進もう。さて学生の皆さんにこれから卒業までの貴重な大学生活を有意義に送ることができるように、私の体験から1つのアドバイスをします。

「やりたいことと、やるべきことは同時進行でせよ」。

- ・若い今だから飲んで騒いで楽しい。
- ・若い今だからスキーに行って楽しい。
- ・若い今だから彼女とデートして楽しい。

これらは一生の思い出となります。

しかし、

- ・若い今だから数学の力を身に付けられる。
- ・若い今だから語学の力を身に付けられる。
- ・若い今だから電子回路の力を身に付けられる。

これらは一生の財産となります。

君は学生時代を楽しく遊び過ごしますか？それとも一心不乱に勉強しますか？

無心に遊んで懸命に勉強をやるべし。一生の思い出も一生の財産も手にするのです。やりたいことと、やるべきことは同時進行でやる。その“同時進行”の訓練を今から積むのです。“同時進行”のコツは“集中力”あるのみです。勉強は必要以上に時間をかけてはいけない。時間が過ぎたら勉強が終わらなくても遊びに切り替える。優れたアイデアは“遊び心”の中からも生まれてきます。

しかし遊びと勉強の“同時進行”は言うは易いが実行は難しく、ほとんどの人はどちらかに偏ってし

まい後悔することになります。かつては私もその「後悔組」でした。

私は昨年、群馬大学から工学博士号を授与されました。これには勉強の期間も含めると10年以上をかけましたが、この10年余の間は実に良く生活を楽しみ、また勉強に研究に熱中しました。

この間、北海道（礼文島の徒歩縦断）旅行、京都のお寺巡り、ニュージーランドハイキングツアー、そして北アルプス、那須連峰縦走を始めとして埼玉、群馬、栃木の山々、インドの人達との恒例ハイキング等など、全て夫婦で行動し楽しみました。さらに趣味の美術展を見てまわり、自分の版画作製もしてきました。私は自然に、そして美に近づきたいのです。

そんな私には学ぶのに十分な時間と良き環境はありません。また常識に捕らわれたくないのです。私は通常の勉強法以外に以下の“究極の勉強法”をとりました。

- ・紙と鉛筆を使わない。
- ・机や椅子を使わない。
- ・山を登りながら学ぶ。
- ・テレビを見ながら学ぶ。
- ・会話の合間に学ぶ。

私は頭の中にキャッシュメモリーとディスクを持ちました。解くべき課題はディスクに入れておく。必要なときにキャッシュメモリーに取り出して、頭の中でクルクルと高速のCPUの如くに考え。時間が来たら途中結果をディスクに書き込む。これを実現するために“アナログ回路”は全てイメージ化しました。イメージ化することにより“究極の勉強法”が可能となります。今年、私が皆さんに伝授するのは“イメージで学ぶアナログ回路”です。皆さんも“究極の勉強法”を取り入れてみませんか。